

|   |           |
|---|-----------|
| 住まいと居住環境の計画 FH42 041 / K82 1401   |           |
| 第1学期月曜5・6時限(2単位)  | 対象： 2～4年生 |
| 担当教員：<br>藤井さやか 3F 1002 電話 853-5008 E-mail fujii(at)sk.tsukuba.ac.jp<br>岩田 司 独立行政法人建築研究所 iwata(at)kenken.go.jp<br>Office hour：メールによりアポイントを取ること。(at)は@に読み替えて使用  |           |
| 教科書： 特になし   |           |
| 授業概要・教育目標：<br>住まいは基本的な社会基盤の一つである。住まいは単独でその環境を維持できるわけではなく、周辺環境のあり方がその住まいの環境を規定している。一方で、個々の住まいの集合体がまちを形成している。したがって、どのような住まいをつくるかが、地域の環境改善や地域社会の活性化にも大きな関わりを持っている。<br>本講義では、住まいの環境に深く結びついている気候や風土といった地域性や、その地域固有の社会や文化といった歴史性を踏まえた住まいづくりについて学ぶとともに、住まいづくりから発展するまちづくりについて考える。 |           |

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 授業計画： |                              |
| 第1週   | 住宅のつくり方                      |
| 第2週   | 住宅問題の発生と居住環境整備               |
| 第3週   | 住宅政策の変遷と今日的課題                |
| 第4週   | レポートとグループワーク「住まいづくりを考える」     |
| 第5週   | 住宅地のつくり方(既成住宅地)              |
| 第6週   | 住宅地のつくり方(ニュータウン)             |
| 第7週   | 住宅地と居住環境に関わる制度(土地利用制度)       |
| 第8週   | 住宅地と居住環境に関わる手法(開発事業とまちづくり手法) |
| 第9週   | 東南アジアの住宅地                    |
| 第10週  | レポートとグループワーク「まちづくりを考える」      |

|   |
|---|
| 成績評価：出席、レポート、グループワークから総合的に評価する。   |
| 備考：本講義は国総との共通科目です。学類ごとに科目番号があります。社会工学類学生は入学年に応じて FH42 041 又は K82 1401、国際総合学類学生は R12 6901 となりますので、違いに留意すること。 |

